

2018年度 文教大学臨床相談研究所 主催

専門研修講座

—思春期・青年期と彷徨い歩く力—

このたびは、「思春期・青年期と彷徨い歩く力」と題して、専門研修講座を開催することとなりました。講師には、岸 良範（きし よしのり）先生をお迎えいたします。

■講座概要

思春期・青年期は、生理的・心理的・社会的な変化があまりにも大きすぎ、今までそれなりに安定していた自己イメージが使えなくなり、さりとて新しい自己イメージが確立されるわけでもなく中間人としての混乱の中にある。その混乱が自己の断片化を引きおこし、断片化されたものの間を彷徨い歩くことになる。通底にあるものは「うら淋しさ」であり、そのうら淋しさから生ずる行動を「キャッチャー・イン・ザ・ライ」（村上訳）を通して述べてみたい。また2つの自験例を通して彷徨いからどのように自分なりに道筋をつけていくかについて検討してみたい。

■講師 岸 良範 先生

茨城大学大学院名誉教授。福島学院大学教授。臨床心理士。東京都港区高輪にて高輪心理臨床研究所主宰。早稲田大学大学院文学研究科修士課程修了。公立教育研究所、大学学生相談室カウンセラー、埼玉医科大学短期大学助教授、愛知教育大学大学院教授、茨城大学大学院教授を経て平成30年より現職。その他、最高裁家庭裁判所総合研修所講師、東京都および神奈川県教育相談機関のスーパーバイザー等、講師経験も多数。専門分野は、臨床心理学、精神分析的な心理療法であり、思春期・青年期の深い臨床実践と研究を重ねてこられました。著書は『思春期の心理学（ポプラ社、単著）』、『臨床実践の心理学（NHK学園、編著）』、『ケアへの出発（医学書院、共著）』、『こどもの心理臨床（北樹社、共著）』等々多数です。

■日時：2018年11月11日(日) 午前10時～午後5時

■費用：5,000円 ■定員：50名

■受講案内

対象：臨床心理士、医師、教師、ソーシャルワーカー等、臨床心理・医学・教育・福祉等の分野の仕事に携わっている方、およびそれらの職を志している大学院生

*臨床心理士資格更新のポイントに申請予定。

■申し込み：

氏名、住所、連絡先、勤務先、臨床心理士資格の有無をみれなく記入の上、FAX・メールのいずれかでお申し込みください。 ※10月10日(水)必着

文教大学大学院人間科学研究科附属 臨床相談研究所
〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島 3337

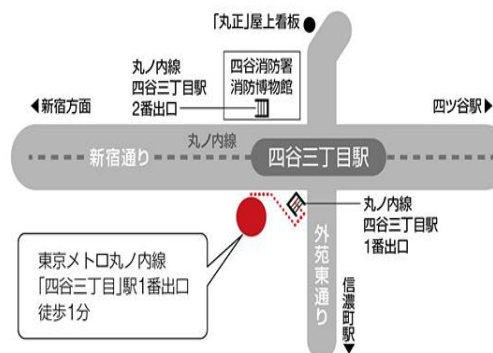
Tel & Fax : 048-974-4065

E-mail : rinsho@koshigaya.bunkyo.ac.jp

HP: <http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/psyclinc/>

■会場：ワイム貸会議室 四谷三丁目
〒160-0004 東京都新宿区四谷 3-12
丸正総本店ビル 6F Room D+E

■交通：東京メトロ丸ノ内線
「四谷三丁目」駅 1番出口 徒歩1分



丸ノ内線で新宿から54分 銀座から10分